予算審査特別委員会
＝審議を尽くした２日間＝

新年度予算は議員全員で構成する予算審査特別委員会（西埜委員長）に付託され３月14・15日の２日間で審査されました。主な質疑内容の要約は次のとおりです。

一般会計

■議会費（歳出）

Q東海林委員

給付費負担金750万円について、小平町での議員年金対象者は何人いるのか伺う。

A松谷議会事務局長

退職年金受給者12名、遺族年金受給者15名、合計27名となっている。

■総務費（歳出）

Q山内委員

①職員給料について国家公務員の7.8％削減による職員給料と地方交付税の関係は。

②町防犯協会運営補助金の中のＬＥＤ交換分に係る補助は、全町内会が終わるまで継続してもらえるのか。

③地域おこし協力隊報償費（30万円）と地域おこし事業支援委託料（170万円）の内容について。

④留萌地域電算共同化将来システム移行負担金とは。

⑤公会計システム及びPCについて来年度以降保守費用が発生するのか。

A鈴木総務課長

①国家公務員は、平成24、25年の２年間で削減を実施する予定であり、それに準じなかった場合は、地方交付税の減額もあり得る内容の通達が総務省から来ておりますが、具体的な方針が示されておらず、今後、６月まで近隣町村の状況を踏まえ、職員組合等と協議しながら検討していきたい。

A関町長

②ＬＥＤに交換したものに対し半額補助する事業であり、各町内会自体の財源も必要となるが、全町内会が終わるまで継続するべきと考えている。

A江良企画振興課長

③農業再生のため、マイ田ウン・プロジェクトを進める中で農業生産法人の設立、独自産業自由化に向けた取り組みとして地域おこし協力隊を募集、導入することが主な内容。

④管内各町村で個別に対応しているシステムを一本化するもの。

A阿部財政課長

⑤町の会計を単式簿記から複式簿記に変換するためのシステム及びPCであり、来年度以降、保守費用が発生するものと考えている。

Q東海林委員

臨時職員の賃金について説明願いたい。

A鈴木総務課長

一般事務職員の日額5800円について、25年度からは、経験年数等を考慮し、４区分（100円～400円）に応じて金額を加算する。

Q工藤委員

①昨年、報道等で取り上げられた『ホテルポールスター札幌』に出張で宿泊した際の旅費と宿泊助成についての対応は。

②バス停管理賃金について、管理箇所数と管理内容を伺う。

③中低木植栽委託料の内容は。

④ふるさと納税謝礼について伺う。

A鈴木総務課長

①昨年11月より、札幌に宿泊出張の職員について、宿泊場所の確認を行っているが、現在まで宿泊した者はいない状況。

A江良企画振興課長

②小平中央バス停と鬼鹿港町３区バス停の２箇所。バス停管理及び清掃、周辺の草刈り等を行っている。

③ゆったりかんの緑地公園化を図るため、国道沿い側に混播法サークルを造成し植栽するもの。

A阿部財政課長

④１万円以上の方に小平町特産品を贈答しており、最近では「ななつぼし米」を贈り感謝の意を表している。

■民生費（歳出）

Q藤田委員

①家庭介護手当（25万円）について、昨年から可能な限り増額をお願いしていたが、従前と中身は変わったのか。

②町保育・託児事業補助金とあるが、小平地区において社会福祉協議会運営の「くるんぱ」と幼稚園との一元化の方向性について考え方を伺う。

A吉田保健福祉課長

①昨年からの検討事項としてきたが、在宅介護する方が増えないことや在宅介護することができない状態でサービス利用をする方が多いことから昨年同様としているのでご理解願いたい。

A関町長

②現状の小平幼稚園との一元化については規模の問題や国の制度と照らし合わせながら考えていきたい。

■衛生費（歳出）

Q山内委員

二次救急医療圏市町村負担金について、昨年より320万円ほど増額になっているが積算根拠を説明願いたい。

A吉田保健福祉課長

年間の土曜、日曜、祝日、夜間の単価日数をかけたものを管内市町村全体額としている。それを均等割・搬送割で割り返した額を各市町村負担金としている。今回の小平町の負担割合は１割程となっている。